



令和元年7月25日発行 中等新報第15号
新潟県立村上中等教育学校長 吉井 裕也

校内研究授業① ～主体的・対話的な学びを求めて～

当校研究部による今年度の研修テーマは、「主体的に対話的な深い学びによる資質・能力の育成」。これは、年度当初に掲げた重点目標「授業改善」の方向性を示したものとと言えます。研修の方法は、① 全職員がテーマに沿った研究授業を行う、② 各自が年3回以上研究授業の参観を行い、「参観カード」を授業者に渡す、③ 授業公開月間（10月23日～11月15日）を設け、普段の授業も積極的に公開する、という3本立て。この他に、外部講師を招いての授業改善に係る職員研修も計画しています（8月27日実施）。今回は、7月に行われた研究授業の中から二つ紹介します。いずれも、生徒の意欲を喚起し、思考に刺激を与える魅力的な授業でした。

6年1組「地理B」（7月9日実施）

アフリカの10カ国について、班ごとに担当する国を決め、その国の風土・文化・民族・産業・固有の課題等をまとめる。その後、一部のメンバーが各班を回り、他国についての情報を集めてくる。



4人一組の班で、ある国のイメージマップを作成します。作成後、2人が他の9班を回って説明を聴き、それを自班に持ち帰ります。残った2人は次々に訪れる他の班員を迎え、自班でまとめた学習成果を説明します。1回の説明時間は2分。担当の野本教諭の指示の下、教室内が躍動していました。

ウォーミングアップは、英単語のスペルによる「しりとり」。4つのグループで数を競う。その後は、自分たちで考えたピックに基づいたディベートを実施する。

6年2組「英語表現II」（7月17日実施）



ディベートのトピックは、「Which do you prefer?」（あなたはどちらを選びますか？）「A rich person with an unattractive face? or A poor person with an attractive face?」（魅力のない容貌のリッチな人？それとも、魅力的な容貌の貧しい人？）二項対立として妥当かどうかは別として、討論はかなり盛り上がりました。何しろ相手を論破しなければならないので、語彙を駆使して懸命に表現します。仲間の思いついた表現に、グループ内で大爆笑の起こる場面もあり、担当の泉田教諭、ALTのイーライさんも終始楽しげな表情でした。



新潟県立村上中等教育学校

〒958-0031 村上市学校町6番8号 TEL.0254-52-5101 FAX.0254-53-6773
HPアドレス <http://www.murakami-ss.nein.ed.jp>